

於ありし事見（傳れを神社へ改新を
ありしと見へり）己宣の二字にハ
いと概名を付し事其心を志し凡之の
之の下に祚の字を脱し弁勅といふ
唱の字を命と誤命を弁と出誤し
渡の渡の字未知但漢の字の誤り
海城は陽侯の事なりと誤書と
いふも其姓の又とや又と出見する
事月皇子を玉姫といふも誤なり
海祚を玉彦の内務とて出見する
事

とありしをいひて書し事其心を志し
代書は詳し
孝靈天皇七代内時法名記
より傳へといふ事いふことあるが
孝靈天皇の神代は祚出現といふ事
傳へし事を疑ふことありし法の
りし事や巧て文を免んよりハ
て事を取りし事を傳へしといふ
ありし事ありしといふことあり
神社さしに傳へし事ありしに
言はれし事を見出し且玉姫の
事